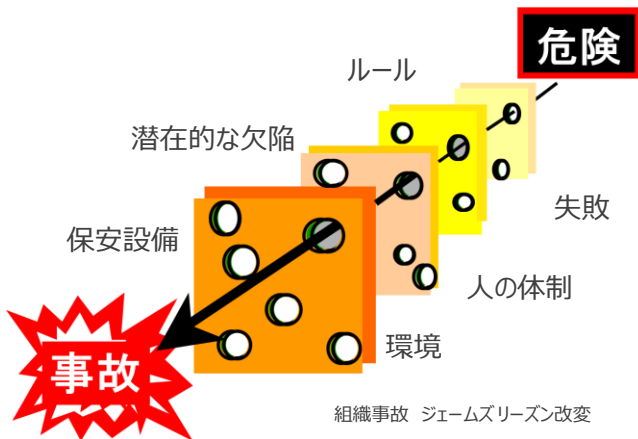
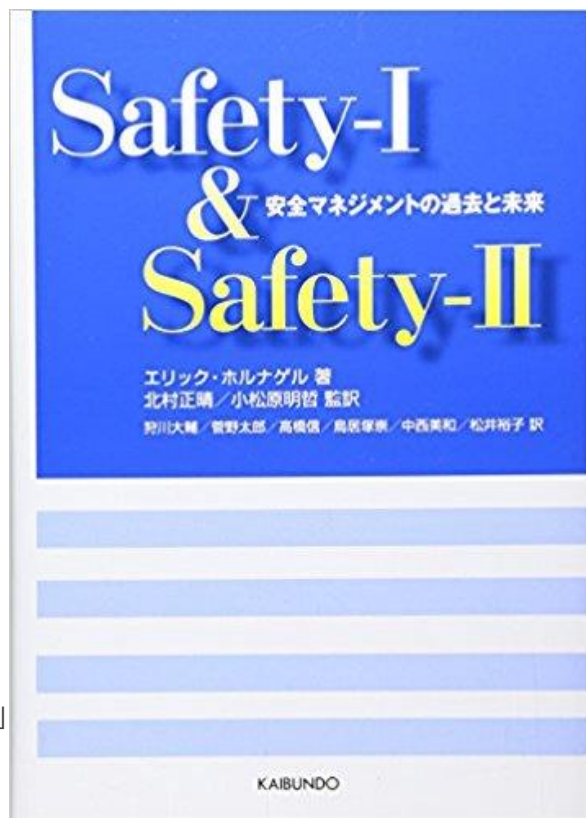


3分で読める 医療安全ニュース 8期/12号

医療安全研修会でよく耳にする Safety-I & Safety-II について



組織事故 ジェームズリーズン改変



↑エリック・ホルナゲル(2015/11/1)参考になりました。

参考・引用文献

- 組織事故-起こるべくして起こる事故からの脱出-ジェームズリーズン (翻訳)塩見 弘 佐相 邦英 高野 研一. 日科技連出版社(1999/4/1)
- Gravio GD, Patriarca R (2016) Safety Performance of Complex Systems: Lesson Learned from ATM Resilience Analysis. Ind Eng Manage 5: 193. doi:10.4172/2169-0316.1000193

● 安全の定義

1. 国際標準化機構(ISO)が定めた安全の定義は「**受容できないリスクから免れていること**」となります。
2. 安全な状態に保つためには「どのような場合でも悪い方向へは向かわないよう」、にしなければなりません、そのようなことを完全に行う事は不可能であることもわかっています。定義からは「悪い方向へ向かう出来事や数が許容範囲内であるときその状態は安全だ」、といえることとなります。

● Safety I とは

1. 事故がどのようにして起こるかを説明した事故モデルの中でも、スイスチーズモデル(左図)はご存じの方も多いでしょう。事故という結果は、防護壁である隔壁にスイスチーズのように大小の穴(隔壁や穴 = 安全ではない行動や潜在している欠陥)が開いており、それらが組み合わさって発生します。そこで、根本原因分析など解析を行い、どんな組み合わせが事故という結果に繋がるのかを追求し対策を立てます。
2. 安全の定義(前述)から Safety I での安全管理の目的は許容できる範囲の状態を達成し維持することとなります。
3. 事故という有害な結果は何かが悪い方向へ向かうから起こる、結果には必ず原因があり、それを判明させることでその原因を取り除いたり、隔離したり、無力化することで再発を防止する事が出来る、**Safety I とは原因を追及し対策をたて、物事が悪い方向へ向かうことを避ける**という考え方もいえます。

● Safety II とは

1. Safety I は事故がなければ対策ができないことや、根本原因分析は結果としてルールが増加していくことが指摘されています。
2. そこで、物事が悪い方向へ向かうことと、正しい方向へ向かうことは同じ方法と捉え、日常の作業を理解することで人の持つ事故を避ける微妙な調整力、行動の可変性に注目することが Safety II です。
3. つまり、**Safety II とは 1 万回の作業に対して 1 回の事故があったとすれば、9,999 回の日常のうまくいった活動に着目すること**をいいます。Safety II での安全管理の目的は、できるだけ多くの作業が(望ましくは全てが)正しい方向へ向かうこと、日常作業が初期の目標を達成することを保証することとなります。
4. Safety I と Safety II は方法論は異なりますが、どちらかということではなく、どちらも重要であり組み合わせることで複雑なシステムに対応する安全管理方法となります。どちらも事故報告は必須です。提出(一時の確定など含)よろしく願いいたします。

2018/2/23

医真会八尾総合病院 医療安全管理室